



ボランティアスタッフの活動

ボランティアスタッフ

楽しいステージ

商品の販売

第15回障害者タスキリレー

第25回

りゅうぎんプレゼンツ ナイスハートバザールイン沖縄



ナイスハートバザールオープンセレモニー



りゅうぎんユイマール助成会および琉球銀行は、2005年より財団法人沖縄県セルプセンターの主催する「ナイスハートバザールイン沖縄」に特別協賛しています。

2009年11月21・22日の両日、イオン南風原ショッピングセンターで開催されたバザールでは、障がい者の自立促進を目的に、授産施設や小規模福祉作業所38団体の作った木工品・小物・食品などが展示・販売されました。

琉球銀行は特別協賛企業として運営費を補助したほか、バザール本番に先立ち、本店・南風原支店のロビーにおいて、バザール出店団体の商品を展示し、また、懸垂幕を掲示するなど宣伝活動をバックアップしました。

また、バザール当日には、多くの当行職員が、販売やイベントのボランティアスタッフとして運営を支援しました。

夏休みこども科学展 入場チケットを贈呈

琉球銀行は、2009年8月、沖縄県立博物館・美術館で開催された夏休みこども科学展「空飛ぶ勇者たち」に協賛し、展示会の入場チケット200枚を沖縄県社会福祉協議会に贈呈しました。

この展示会は、「空を飛ぶ」ことにチャレンジしてきた勇者たち（鳥、恐竜、飛行機など）をテーマに、飛翔や飛行のしくみ、空飛ぶ生物の進化や人類の大空へのチャレンジを学ぶもので、7月16日から8月30日の夏休み期間中に開催されました。

贈呈したチケットは、社会福祉協議会を通して、本島内6カ所の児童養護施設に入所する児童・生徒に配布され、楽しい夏休みの思い出としてご利用いただきました。



県社会福祉協議会へ贈呈

参考 りゅうぎんユイマール助成会

「りゅうぎんユイマール助成会」は、1993年（平成5年）6月に当行の創立45周年を記念して、設立した基金です。毎年、役員に寄付金を募り、さらに同額を銀行が寄付することで基金を造成します。

例えば、役員から200万円が集まった場合、



公益信託

源河朝明記念那覇市社会福祉基金

10団体に499万円を助成

琉球銀行は、2009年12月、第12回公益信託「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の助成先10団体に助成金を授与しました。

同基金は、県外在住の源河朝明氏が那覇市に寄贈された土地の売却代金を原資に、公益信託として1998年11月に設立されました（委託者：那覇市、信託代理店：琉球銀行）。

この基金は、沖縄県内において社会福祉に関わる活動を展開している法人および、銀行も200万円を拠出し、合計400万円を助成会の活動原資とする仕組みです。

りゅうぎんユイマール助成会では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、設立から2009年11月までの助成実績は、282件の1億2556万円となりました。

参考 公益信託

琉球銀行は、公益信託代理店として、社会福祉活動にかかわる法人および団体を助成する「宇流麻福祉基金」「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の運営に携わっています。

「宇流麻福祉基金」は、源河朝明氏より委託を受けた公益信託として1996年12月に設立され、沖縄県で社会福祉活動をしている法人および団体に対する助成を目的としています。

「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」は、1998年11月に設立され、那覇市を中心に県内の社会福祉にかかわる活動をしている法人団体に対する助成を目的としています。

本年度は、障がい者の生活自立や就労支援を目的とした団体や、発達障がい児の親の会、生活困窮者を支援する団体など10団体に総額499万円を助成しました。

び団体を助成し、地域社会の福祉の増進に寄与することを目的とするもので、琉球銀行は信託代理店としてその運営に携わっています。